



2008/09 WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区 B

市原ロータリークラブ会報

第 2187 回例会 2008 年 10 月 8 日(水) 会報担当/山本会員

例会場 五井グランドホテル 市原市五井 5584 - 1 事務局 TEL 0438-38-3535



< 移動例会 ガラス工芸体験と昼食会 >

9:00 バスにて五井GH出発

～菅原工芸硝子(九十九里町)にてガラス体験教室

～八鶴亭(東金市)にて昼食

菅原工芸硝子(株)にて



< 菅原専務より「スガハラ グラス」の説明 >

すべて職人による手作りです。オリジナリティあふれ、美しく楽しいガラスが特徴で、国内外で高い評価を得ています。

女性の職人がいるのは世界的にも珍しいとのこと。

体験後は、ショップにて買い物も楽しみました。

< 工場にて体験教室 >

1200 度で溶けたガラスをヘラでのばし、お皿、鉢、花器、ジョッキ等を作りました。



(皆さん真剣です)

(芸術作品が楽しみです)



八鶴亭にて昼食



社会奉仕活動報告

上條優雄会員が10月2日(木)千葉県立東金高校の総合的な学習の時間にて社会人講話をされました。テーマは「『報連相』が幸せを作る」で、約1時間の講演でした。

【講演の概略】

1. HP:「南房総グルメ100選」を作成した理由
2. ロータリークラブについて
3. 「4つのテスト」
4. 現在の社会情勢と社会が望む人材
5. 「報連相」の根幹は「他人を思いやる心」
6. 報告 = 義務、連絡 = 気配り、相談 = 問題解決
7. ピンチをチャンスに変えるコツ
8. 幸せな人生とは何だろう

「八鶴学習だより」に生徒の感想が多数掲載されています。生徒の心に響いた言葉がたくさんあったようです。



コラム・ロータリー

「日野原重明先生97歳のお話」

9月14日に文藝春秋主催の特別講演会「日野原重明」先生のお話を聞きに行った。程なく97才になる先生はオークラホテル東京の平安の間を埋め尽くす聴衆を前にして開口一番「こんなに横長の会場では、檻の中の猿のように行ったり来たり動き回って講演をしなければなりません。」と言って会場を沸かせた。サンパウロからニューヨーク経由で、前の晩9時に帰国したばかり。朝は7:30に爽やかな気分で起床。11時からの講演に間に合うように会場に来たそうだ。

「先生は世界中を飛び回っていますが、時差ボケはどのように解消しているのですか。」昭和天皇の侍医に聞かれたことがあるそうだ。帰国したら、眠くても眠くなくても、いつもの就寝時間になったら、睡眠薬を1錠ないし1錠半を服用して熟睡をする。翌日には気分爽快で起床できるそうだ。

長寿についての答え。「ただ長生きするだけでなく、集中する時間を作る。自分の使える時間を作る。睡眠時間はたとえ短くても熟睡すること。」97歳の先生が「老人になったらこのような歩き方はしないように」と身振りおかしくペンギン歩きをして見せたのには驚いた。

(蔵内玲子)